

「道徳の時間」の特質

(その3)

～ 道徳的価値の自覚を深める ～

「道徳の時間」の特質

- 計画的、発展的に指導する。
- 補充、深化、統合する。
- 道徳的価値の自覚を深める。
- 道徳的実践力を育成する。

今回は、「道徳的価値の自覚を深める」ことについて確認します。



■ 道徳的価値の自覚を深める

道徳的価値の自覚については、次の3つを押さえましょう。

- 1 道徳的価値について理解する。
- 2 自分とのかかわりで道徳的価値をとらえる。
- 3 道徳的価値を自分なりに発展させていくことへの思いや課題を培う。

1 道徳的価値について理解する。

価値理解：道徳的価値は大切であること



広い気持ちで、自分と違う意見を大切にすると、みんなと仲良くできるなあ。



目標に向かってがんばってやり遂げたい！

人間理解：道徳的価値は大切ではあるが実現は難しいこと



家族を大事にすることは大切だけど、つつい自分のことばかり考えてしまうことがあるなあ・・・。



ついうっかりして、きまりを守れないことがあるなあ・・・。

他者理解：道徳的価値の実現に向けては多様な感じ方・考え方があること



規則を守ろうとする理由にも、いろいろなものがあるんだな……。



「ありがとう」という感謝の言葉にも、いろいろな思いがあるんだなあ……。

2 自分とのかかわりで道徳的価値をとらえる。

- 道徳的価値についての理解（価値理解、人間理解、他者理解）を自分とのかかわりで行う。
- 自分とのかかわりで道徳的価値を理解することで、あわせて**自己理解**が深まる。

3 道徳的価値を自分なりに発展させていくことへの思いや課題を培う。

- 道徳的価値にかかわる課題を培うために、現在の自分自身を知る。



今までに、学級や学校のために、なにかやってきたことはあったかなあ……？



今までに、相手や周囲に対して、失礼なことをしてしまったことはなかったかなあ……？



道徳の時間が、以上のような「道徳的価値の自覚」を深めるための時間になっているか再度確認してみましょう。

形式にこだわりすぎることをないよう弾力的に授業を展開することも大切です。